

法藏館書店ニュース 11月

目次

話題の本 P1
法藏館新刊案内 P2~4
法藏館刊行予定案内 P4~6
法藏館書店新着案内 P6~11

特集1:民藝誕生100年 柳宗悦の軌跡 P12~13
特集2:秋の寺院散策のお供の1冊 P14
お知らせ P15
法藏館書店ベスト10・
メール配信サービスご案内 P16

★お知らせ★11、12月の書店休業日

11月のお休み:2日・9日・16日・23日・30日

12月のお休み:7日・14日・21日

年末年始のお休み

27日(土)~1/4日(日)まで。※26日(金)は12:00まで営業

話題の本

●中日・東京新聞[朝刊] (2025/10/26)

『統一教会・現役二世信者たちの声
一壁の向こうの言葉を聴く』

瓜生 崇著・四六判・244頁・1,980円
ISBN:978-4-8318-5729-3

●仏教タイムス (2025/10/16・23)

『日本浄土思想の歴史

一円仁・源信・法然・親鸞』
四夷法顕著・四六判・182頁・2,200円
ISBN:978-4-8318-5590-9

●朝日新聞 (2025/10/11)

●同志社時報 (2025/10/1)

第37回 國華賞
(2025年度)受賞

『奈良・平安彫刻の文化史的研究』

井上一稔著・A5判・860頁・24,200円
ISBN:978-4-8318-6334-8

●中外日報 (2025/10/10)

●土庫 (2025/9/20)

法藏館文庫 『承香殿の女御

一復原された源氏物語の世界』

角田文衛著 上原作和解説・文庫判・240頁・1,210円
ISBN:978-4-8318-2706-7

●読売新聞[大阪版] (2025/10/4)

●京都新聞 (2025/10/1)

『比叡山延暦寺僧墓総覧 全3巻』

小川善明著・B5判・1228頁・93,500円
ISBN:978-4-8318-7793-2

●中外日報 (2025/10/3)

法藏館文庫 『女の信心—妻が出家した時代』

勝浦令子著・文庫判・320頁・1,540円
ISBN:978-4-8318-2703-6

●社会学評論 302 (2025/9/30)

『森岡清美の宗教社会学

—その検証と継承』
大谷栄一・寺田喜朗編・四六判・348頁・3,520円
ISBN:978-4-8318-5728-6

●毎日新聞 (2025/9/27)

『あきらめる勇氣

—「見えなくなった」僕を助けてくれたのは」
松永信也著・A5判・128頁・1,540円
ISBN:978-4-8318-5620-3

●中外日報 (2025/9/26)

『この道は、いつかゆく道

—浄土への感性』
清基秀紀著・四六判・120頁・1,430円
ISBN:978-4-8318-8750-4

●中外日報 (2025/9/19)

『目からウロコの仏教入門』

ケネス・タナカ著 鴻野立明・菅原 建訳
四六判・296頁・2,200円・ISBN:978-4-8318-8802-0

●ちえうみPLUS (2025/9/19)

『華嚴教学の形成と展開』

櫻井 唯著・A5判・484頁・8,800円
ISBN:978-4-8318-6399-7

法蔵館文庫

◆三木清「親鸞」

【宗教／哲学】

岩田文昭編・文庫判・248頁・1,320円・ISBN:978-4-8318-2711-1

なぜ三木清は親鸞を論じたのか。その死によって未完に終わった哲学を、文献注を添えて復刻。異彩を放つ親鸞論の真価に迫る決定版！

■目次

解説 三木清「親鸞」にいたる道程とその構造(岩田文昭)
親鸞 本文
親鸞 断片
幼き者の為に
我が青春 ほか

ためし読み



◆原典訳 マハーバーラタ 1

【インド古典】

上村勝彦訳・文庫判・496頁・1,980円・ISBN:978-4-8318-2712-8

古代インドに産声を上げ、いまなお人々の心に生き続ける世界最長の叙事詩。信頼すべきサンスクリット原典訳の待望の復刊。

■目次

第1巻 最初の巻(アーディ・パルヴァン)
(1) 筋書き(第一章)
(2) 各巻の要約(第二章)
(3) パウシャ王(第三章)
(4) プローマン(第四章―第十二章) ほか

ためし読み



◆般若心経の思想史

【仏教】

立川武蔵著・文庫判・294頁・1,430円・ISBN:978-4-8318-2713-5

多くの人々の心をつかんできた『般若心経』。その空思想が諸文化においてどう解釈され、日本でいかに受容されているかを考察する。

■目次

序章 『般若心経』の魅力
第1章 禁欲と瞑想
第2章 仏教における否定と聖化
第3章 インド仏教史と『般若心経』
第4章 『般若心経』の翻訳と注釈 ほか

ためし読み



◆その悩み、 哲学者とお坊さんはこう答える

【哲学／仏教】

小川仁志・大來尚順著・四六判・138頁・1,650円・ISBN:978-4-8318-8811-2

哲学者と僧侶という「悩み」のプロの二人が、それぞれの立場から、人生・日常の悩みにたいする解決へのヒントを伝授。

■目次

- 【悩み1】哲学や仏教を勉強したら、何がわかるの？
- 【悩み2】哲学や仏教は、何の役に立つの？
- 【悩み3】哲学や仏教に向いてるのって、どんな人？
- 【悩み4】どうすれば、やりたいことが見つかる？
- 【悩み5】共感力のある人間らしい生き方って？
- 【悩み6】どうすれば楽しく生きられる？ ほか

ためし読み



◆なぜ鬼は虎皮のパンツをはくのか ——仏教のヨコ道ウラ話

【仏教／文化史】

石井公成著・四六判・240頁・1,650円・ISBN:978-4-8318-5759-0

仏教にまつわる様々なエピソードを通して、その意外にもユルくて奥深い面白さを専門家が紹介。思わず誰かに話したくなる逸話が満載！

■目次

- 日本の清酒はお寺で生まれた
- サウナの功德を説いたお経
- 伝染病と仏教
- 乳の仏教学
- マリア観音と鬼子母
- 禅僧の望郷詩 ほか

ためし読み



シリーズ仏典をひらく

◆新装版 教行信証 上

【真宗】

桐溪順忍著・四六判・336頁・2,530円・ISBN:978-4-8318-6703-2

真宗の根本聖典である『教行信証』を上・中・下の三巻で解説。別巻では教義上の諸問題を解説する。上巻は、教巻・行巻。

■目次

- 教行信証とはなにか
- 総序
- 教巻
- 行巻
- 正信偈

ためし読み



◆原始天台教学の研究

【仏教／天台】

——章安灌頂の思想推求

日比宣仁著・A5判・642頁・8,800円・ISBN:978-4-8318-7797-0

智顗が大成した天台教学を弟子灌頂はいかに継承したのか。灌頂による教学伝受は後世にどのような影響を及ぼしたのかを明らかにする。

■目次

序 論

第一部 『観音玄義』に関する問題

第二部 智顗の教学と章安灌頂の思想

第三部 『涅槃経』五行説の受容

附録 大本『四教義』巻一～巻四訳註

ためし読み



◆認知宗教学から見る現代宗教

【宗教】

井上順孝著・四六判・310頁・3,850円・ISBN:978-4-8318-5760-6

宗教は現代世界でもなげ、広く深い影響力を保っているのか。宗教の多様な展開、カルト問題、新宗教、グローバル化に伴う宗教文化や宗教習俗の急激な変容を考察する。

■目次

第一章 認知宗教学の水路

第二章 教祖とカリスマ論—感情とナラティブ—

第三章 カルト問題の深奥—感情システムと認知システム—

第四章 分派と原理主義—ニッチ分化とニッチ構築—

第五章 一と多をめぐる神

—擬人観とプロジェクション・サイエンス—

ほか

ためし読み



法蔵館刊行予定案内

〈2025年12月 刊行予定〉

◆日本人の阿弥陀信仰

法蔵館文庫

伊藤唯眞著・文庫判・344頁・1,540円・ISBN:978-4-8318-2721-0

【日本仏教史】

阿弥陀信仰の教義・歴史・文化・民俗的展開を多角的に考察。經典や信仰の背景に触れつつ、古代～中世にかけての変遷、念仏実践、文学・美術・儀礼への広がりを考察。

◆原典訳 マハーバーラタ 2

法蔵館文庫

上村勝彦訳・文庫判・480頁・1,980円・ISBN:978-4-8318-2714-2

【インド古典】

パンダヴァ五王子はクル王国への帰還を果たすが、ドゥルヨーダナに仕組まれた賭博に負け、十三年の国外追放となる。復讐の誓いを胸に、放浪の旅へ出立した彼らの行く末は…。

◆ひとりふたり・・——お正月を迎える

松本智量編・A5判・24頁・136円・ISBN:978-4-8318-1177-6

【仏教／真宗】

「暮らしのなかで気軽に仏教にふれる」をコンセプトに、身近にあるさまざまなことから真宗の教えにふれる聞法誌。今号より装いも新たに、新連載3本とともにリニューアル！

◆『歎異抄』成立の謎

塩谷菊美著・四六判・336頁・3,300円・ISBN978-4-8318-6075-0

【真宗／文学】

『歎異抄』は、いつ、どこで、誰が、何のために作成したのか。多くの真宗聖典のなかで特異な地位を占める『歎異抄』。その成立の真相に迫る。

◆仏教伝来——朝鮮仏教史への入門

福土慈稔著・四六判・168頁・1,430円・ISBN:978-4-8318-5591-6

【仏教史／朝鮮史】

インドでの仏教誕生から中国への仏教伝播、中国仏教の歴史、そして朝鮮半島における仏教の受容と展開に至るまで、様々な時代や地域にわたる東アジア仏教史の入門書。

◆シリーズ仏典をひらく 新装版 教行信証 中

桐溪順忍著・四六判・352頁・2,530円・ISBN:978-4-8318-6704-9

【真宗】

真宗の根本聖典である『教行信証』を上・中・下の三巻で解説。別巻では教義上の諸問題を解説する。全4巻の復刊第2巻目の中巻は、信巻・証巻を解説。

ザ・グレートブッダ・シンポジウム論集第22号

◆論集 東大寺東南院と南都仏教の展開

GBS実行委員会編・A4判・104頁・2,200円・ISBN:978-4-8318-0722-9

【歴史／史料】

三論宗の本所で真言宗も兼学する東大寺東南院での修学的具体相やその広がり状況等近年の三論教学への関心の高まりに 대응する一冊。醍醐寺堅義会の部分実演記録も掲載。

◆神楽の文化史

鈴木正崇著・四六判・534頁・4,950円・ISBN:978-4-8318-5743-9

【民俗／社会】

研究の原点に立ち返り、民俗学・宗教学・芸能史・演劇史という学問的枠組みを超えて、神楽の継承に携わる全ての人に向けて、神楽とは何だったのかを問う。

◆般若心経秘鍵の研究

米田弘仁著・A5判・560頁・15,950円・ISBN:978-4-8318-6337-9

【仏教】

伝統的訓読の定説にとらわれず一言一句の出典・用例を詳細に調べ通読。新たな訓読と解釈を提示し、空海『般若心経秘鍵』の真義に迫る。

◆柳田国男と大正期の神道

渡 勇輝著・四六判・314頁・3,850円・ISBN:978-4-8318-5740-8

【歴史／民俗】

「神道私見」を軸に、柳田国男を近代神道史の文脈へ。大正期の学知ネットワークを照射し、神道史叙述を刷新する画期的研究。

◆声明理論の形成過程——平安・鎌倉期を中心に

澤田篤子著・A5判・462頁・11,000円・ISBN:978-4-8318-6074-3

【音楽史／仏教】

安然『悉曇藏』から、湛智『声明用心集』へ。日本独自の旋律論として展開し、中世の諸声楽の成立に大きな影響を与えてきた声明理論の形成過程を解明。日本音楽史の新地平を拓く。

法蔵館書店新着雑誌案内

◆同朋 11月号

〈東本願寺出版〉

真宗大谷派宗務所出版部編・A4判・56頁・440円

生活に密着した話題から親鸞聖人の教えまで、日々の暮らしのなかにある大切なことを見つめる月刊誌。

■目次

- ◎巻頭インタビュー 北村 人(絵本作家、イラストレーター)
寄り道しながら、意外な発見を楽しみたい。
- ◎特集:「ありがたい」の話
 - ・古写真でつづる東本願寺
 - ・仏事作法のひとつ……近松 誉
 - ・出会いの真実——嘆仏偈を読む……宮下晴輝 ほか

◆大乘 11月号

〈本願寺出版社〉

大乘刊行会編・B5判・88頁・375円

門信徒の家族が楽しく浄土真宗に親しむための月刊誌。お念仏のよろこびをご家族のみなさまにお届けします。

■目次

- ・DAIJO法話「万博」……西村慶哉
- ・ご機言!お寺の掲示板……江田智昭
- ・結婚してお坊さんになりました「歯磨き」……前田純代
- ・なるほど仏教ライフ「解像度」……星 顕雄
- ・つながる医療と仏教……佐々木恵雲 ほか

法蔵館書店新着案内

リベラル文庫

◆くり返し読みたい歎異抄

釈 徹宗監修、臼井 治画・文庫判・158頁・935円(リベラル社)

歎異抄は、唯円が親鸞の教えの真意を正しく伝えようと書いたものです。固執せず、阿弥陀さまに身を任せる生き方を説きます。

※本書は2022年に発刊した『くり返し読みたい歎異抄』を文庫化したものです。

■目次

- 第1章 自分を見つめ直す
- 第2章 感謝の心を忘れない

- 第3章 強い意志を持つ
- 第4章 人の輪を重んじる
- 第5章 前向きに生きる



リベラル文庫

◆くり返し読みたい空海

近藤義寛監修、臼井 治画・文庫判・158頁・935円〈リベラル社〉

シリーズ13万部の人気シリーズを文庫化！ 混迷の時代に真実を求める空海（弘法大師）の言葉から、今を生きるヒントになる名言を厳選し、美しいイラストとともに収録しました。すべての人に人生の指針が見つかるはず。

※本書は2021年に発刊した『くり返し読みたい空海』を文庫化したものです。

■目次

- 第一章 心を落ち着かせる言葉
- 第二章 迷いから抜け出す言葉
- 第三章 人間関係をよくする言葉
- 第四章 自分を律する言葉
- 第五章 強く生きられる言葉



NHK宗教の時間

◆AI時代に学ぶ禅——本来の自己を生きるために

藤田一照著・A5判・186頁・1,210円〈NHK出版〉

日米で長年坐禅を指導してきた禅僧が、古今東西の思想や現代科学の知見を補助線にしながら、テクノロジーの大波に流されない、豊かで生き生きとした自己のあり方を探っていく。

■目次

- 第1回 人生の「主人公」になる—本来の自己の探究
- 第2回 他は是れ吾にあらず—考える自分だけが「自分」なのか
- 第3回 調えられた自己—一手放し、受け取り、味わう坐禅
- 第4回 道そのものを愉しむ—「目的—手段」思考からの脱却
- 第5回 生かされて生きている—世界と交流する私 ほか



講談社現代新書2788

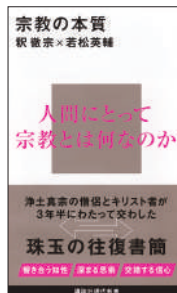
◆宗教の本質

釈 徹宗・若松英輔著・新書判・308頁・1,210円〈講談社〉

浄土真宗の僧侶にして宗教学者の釈 徹宗氏。批評家・随筆家にしてキリスト者の若松英輔氏。「信仰」に造詣の深い当代きっての論客二人が、3年半にわたって交わした珠玉の往復書簡。

■目次

- | | |
|----------|-------------|
| 第一章 信じる | 第四章 読む |
| 第二章 発声する | 第五章 施す |
| 第三章 歩く | 第六章 名づける ほか |



角川ソフィア文庫G127-1

◆霊性の哲学

若松英輔著・文庫判・327頁・1,298円〈KADOKAWA〉

仏教者・鈴木大拙。詩人哲学者・井筒俊彦。民藝の発見者・柳宗悦……。生と死の意味を真正面から問うた哲人たちの言葉をたどり、近代日本を貫く「霊性」の探究を鮮やかに描きだす。

※2015年刊の選書版を加筆修正、文庫化。

■目次

- 第1章 光の顕現 山崎弁栄の霊性
- 第2章 大智と大悲 霊性の人、鈴木大拙
- 第3章 平和と美の形而上学 柳宗悦の悲願
- 第4章 文学者と哲学者と聖者 吉満義彦の生涯
- 第5章 コトバの形而上学 詩人哲学者・井筒俊彦の起源 ほか



◆令和の往生要集

藏田了然著・四六判・112頁・1,320円〈リフレ出版／東京図書出版〉

極楽と地獄の観念はなにに根ざすのか。
今、現代の感覚で「極楽」と「地獄」の観念を解き明かす。

■目次

- 第一部 往生・輪廻の主体 業藏識とその展開
- 一、往生要集について(状況証拠・覚醒証拠)
- 二、愛子の餓鬼道体験
- 三、古径の教えと業の法則
- 四、種々の身心観 ほか



武蔵野大学シリーズ16

◆仏教としあわせ

武蔵野大学仏教文化研究所編・A5判・175頁・2,750円〈武蔵野大学出版会〉

現代人の「しあわせ」を主題とし、その内容を「仏教」から問おうとしている。仏教学の専門家が、誰にでも読みやすい文体で、社会学・環境問題なども踏まえつつ、仏教の深遠なおくゆきへと迫る講演録と論考の集成。

■目次

- 【Ⅰ】論考編
- 第一章 すれちがう利他 (日野慧運)
- 第二章 親鸞におけるしあわせ (前田壽雄)
- 第三章 宮澤賢治の「ほんとうのしあわせ」再考 (加藤みち子)
- 第四章 仏教と福祉 (松岡佑和)
- 【Ⅱ】講演編 ほか



サンガ伝道叢書14

◆「わけもわからずに称名念仏しても意味はない」か？

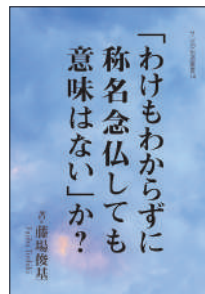
藤場俊基著・A5判・159頁・1,100円〈サンガ伝道叢書〉

2023年11月11日に開かれた大谷専修学院の同朋講座における講話をもとに、著者が内容を補足し表現を整理するなど大幅に加筆修正した講義録。

■目次

講題における四つの視点
「か？」を付けたわけ
「わけがわかる」とは
諸仏の称名
衆生の称名とその「意味」

「わけがわかる」という思いの闇
本物と偽物の見極め
称名念仏と意味
称名念仏との出あい
念仏者の誕生 ほか



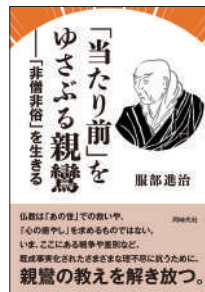
◆「当たり前」をゆさぶる親鸞——「非僧非俗」を生きる

服部進治著・四六判・325頁・2,640円〈同時代社〉

仏教は「あの世」での救いや、「心の癒やし」を求めるものではない。いま、ここにある戦争や差別など、既成事実化されたさまざまな理不尽に抗うために、親鸞の教えを解き放つ。

■目次

序章 本書をつらぬく思想水脈
第一章 仏教・人間・社会
第二章 「円満」する「智慧と知恵」・「自利と利他」
第三章 「させていただく」考——「一元論」の信心と「二元論」の信心
第四章 「聴く」と「聞く」——人間は頭の屈屈だけで考えない
第五章 二項対立と二者択一の論理を融解させる
——社会問題にアクセスする仏教



◆覚鑑——奈良・平安・鎌倉仏教の包越者、密教の革新者

吉田宏哲著・四六判・206頁・1,980円〈作品社〉

空海、最澄、法然、親鸞、道元などにくらべて、あまり知られていない興教大師覚鑑の全貌とその思想・教学を本格的に明らかにする。覚鑑は真言宗において、空海以外では唯一の仏教哲学「密厳浄土」思想を打ち立てた僧として高く評価されている。

■目次

第1部 覚鑑—真言密教と浄土教
第2部 覚鑑をめぐる
第3部 空海と覚鑑



◆キャラ絵で学ぶ! 仏教図鑑——もっと深掘り編

山折哲雄監修、いとうみつる絵、小松事務所文・A5変判・143頁・1,870円〈すばる舎〉

今作では、前作では紙幅の都合で触れられなかった日本への仏教の伝来や発展の経緯、主要な宗派の紹介、名刹・仏教芸術の紹介などを「深掘り」して解説します! もちろん、いとうみつる先生の可愛い新イラストも満載で、読者に仏教への興味をさらに広げていただき、また実際に名刹などに足を運びたいくなる構成としています。

■目次

- 1章 日本に仏教がやってきた! [仏教の日本伝来と発展・奈良仏教]
- 2章 日本の仏教宗派の誕生 [平安・鎌倉仏教]
- 3章 すごい仏像がいっぱい! [仏教美術]
- 4章 有名寺院に行ってみよう! [仏教建築・庭園] ほか



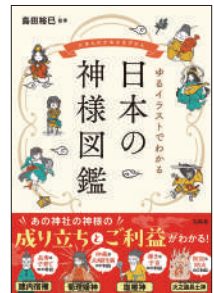
◆ゆるイラストでわかる 日本の神様図鑑

島田裕巳監修・A5判・206頁・1,679円〈宝島社〉

ゆるかわイラストで八百万の神様の起源、性格、ご利益などが早わかり! 『古事記』『日本書紀』に登場する神様から、日本人なら誰もが知っている有名神社に祀られている神様、歴史上の人物で神様として祀られている者まで、日本の神様の起源、性格、ご利益などをイラストとともに徹底紹介!

■目次

- 第1章 すぐわかる! そもそも日本の神様とは?
- 第2章 古事記・日本書紀に登場する神様
- 第3章 全国で人気の神様 大集合!
- 第4章 怖い!? 尊い!? こんなにいる人神様
- 第5章 ご利益にあやかりたい神様



◆仏典の植物事典 新装版

満久崇麿著・A5判・207頁・3,300円〈八坂書房〉

仏教と植物の深い関わりを読み解く貴重な文献! 三大霊樹(ムウユジュ、ボダイジュ、サラノキ)をはじめ、天から降りそそぐ喜びの五天華、ハス、パンノキ、マンゴー、ビャクダンなど仏教の聖典や密教・護摩の儀式に現れる植物について、その象徴性と、仏教的生活文化とのかかわりを、実地踏査と文献渉猟により探る。

- ◆収録植物約280種
- ◆植物写真・参考図版250余点
- ◆和名、学名、漢名、サンスクリット名による索引完備

■目次

- カラー口絵
- 1. 仏教の聖なる植物
- 2. 密教仏典の植物
- 3. 仏教生活と植物



読みなおす日本史

◆「まじない」の民俗——火の用心・病気癒し・魔除け

神崎宣武著・四六判・209頁・2,420円〈吉川弘文館〉

厄災や不幸を防ぐとされ、古来、心のよりどころとして地域や家庭で伝承されてきた「まじない」。雷除けや病気封じ、村境の守り、雨乞い、海女の魔除けなど全国各地の事例を考察し、日本人の生活文化として歴史をたどる。

■目次

- 第一章 天災に対するまじない
- 第二章 病気癒しのまじないと願かけ
- 第三章 門口での魔除けとまじない札
- 第四章 村境での防塞のまじない ほか



◆インド不二一元論哲学・原点へのいざない

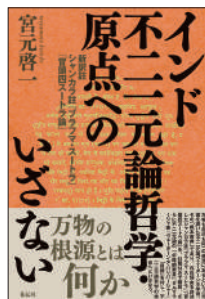
——新訳註 シャンカラ註『ブラフマ・スートラ』『冒頭四スートラ論』

宮元啓一著・四六判・141頁・2,750円〈花伝社〉

万物も自己も同一の根源にあるという一元論を説いた不二一元論ヴェーダーンタ学派。その「根本教典」であり、存在理由を詳述したシャンカラ註『ブラフマ・スートラ』『冒頭四スートラ論』を、註解付きで翻訳。さらに不二一元論の「必修綱要書」ダルマラージャ著『ヴェーダーンタ・パリバーシャー』『目標』を付し、不二一元論哲学の世界へといざなう。

■目次

- はじめに
- シャンカラ註『ブラフマ・スートラ』『冒頭四スートラ論』
- ダルマラージャ『ヴェーダーンタ・パリバーシャー』第九章 目標
- おわりに



◆「無門関」の教え

山川宗玄著・四六判・319頁・2,090円〈淡交社〉

◆台風と共に

——山田無文老師の禅境に参ずること七十三年

則竹秀南著・四六判・188頁・1,980円〈春秋社〉

日本史リブレット人18

◆空也と源信——地獄と極楽を説いた聖人・学僧

岡野浩二著・A5変判・109頁・880円〈山川出版社〉



特集1 「民藝誕生100年」 柳

民藝運動は、1926(大正15)年に柳宗悦・河井寛次郎・浜田庄司らによって提唱された生活文化運動です。名も無き職人の手から生み出された日常の生活道具を「民藝(民衆的工芸)」と名付け、美術品に負けない美しさがあると唱え、美は生活の中にあると語りました。物質的な豊かさだけでなく、より良い生活とは何かを民藝運動を通して追求したのです。「民藝」という言葉が誕生して100年、現在、京都市京セラ美術館で『民藝誕生100年 京都が紡いだ日常美』が開催されています。(12月7日まで)

◆民藝——他力の美

太田浩史著・A5変判・95頁・2,200円(東本願寺出版)

柳宗悦をはじめ民藝運動に参加した様々な人物のエピソードも交えた29のエッセイ。民藝とゆかりの深い富山県南砺市に生まれ育った太田浩史氏(大福寺住職)が、「他力の美」である民藝の世界を案内する。棟方志功や河井寛次郎の作品から、江戸時代に印刷された『御文』やアフリカの仮面まで、多様な約40点を掲載。



◆民藝誕生100年——京都が紡いだ日常の美

京都市京セラ美術館編著・B5判・184頁・3,300円(青幻舎)

京都から日本、そして世界へと広がった「民藝」100年を向かえたいま日常の美という価値観にせまる。京都を舞台とした「民藝」運動の草創期に焦点を当て、約170点の作品と柳宗悦による民藝論を辿りながら、活動の軌跡を紹介。



NHKブックス1296

◆柳宗悦——美を生きた宗教哲学者

若松英輔著・B6判・337頁・1,980円(NHK出版)

民衆の日常で使われていた雑器を「民藝」と名付け、その美の中に「救い」を見出した柳宗悦。文学・哲学・宗教など様々な分野の人物と交流のあった柳の生涯と彼の代表作を時系列で追いながら、近年知られるような美術評論家としてではなく、宗教哲学者としての柳宗悦の全体像を描く。



◆柳宗悦の視線革命

——もう一つの日本近代美術史と民芸の創造

西岡文彦著・四六判・370頁・4,950円(東京大学出版会)

博覧強記の巨人・柳宗悦。その活動はそのまま、近代日本が強いられた、知的かつ美的な苦闘の縮図である。「全球的時代状況との同時的感応」という世界的な知と美の変動の中を疾走した柳の軌跡を通し、もう一つの日本近代美術史の可能性の中心と民芸の創造のダイナミズムを描く。

宗悦の軌跡」

◆新編 琉球の人文

柳 宗悦著・宇田智子解題・四六判・261頁・2,970円〈春秋社〉

柳宗悦が見出した沖縄独自の「人文」とは。

『沖縄の人文(新装・柳宗悦選集第五巻)』(春秋社、1972年刊)を中心に「琉球の人文」に関する論考を新たに取捨選択し編み直した、沖縄の新たな魅力を伝える一冊。エッセイスト・宇田智子氏(那覇市・「市場の古本屋ウララ」店主)による解題付き。



ちくま学芸文庫ヤ22-4

◆琉球の富

柳 宗悦著・文庫判・381頁・1,320円〈筑摩書房〉

琉球王国として独自の文化を形成した沖縄。1938年に初めて現地を訪れた柳宗悦は、工芸品ばかりでなく、建物や人、暮らしぶりにいたるまで、すべてが美しい島々に魅了される。以来、来島を重ね、調査・蒐集を行い、展覧会などを通じてその魅力を紹介した。しかしその夢のような美の王国は1945年の沖縄戦で灰燼に帰してしまふ。



◆仏教者 柳宗悦——浄土信仰と美

岡本勝人著・四六判・325頁・3,080円〈佼成出版社〉

独特の民藝運動とともに浄土信仰への思いが深く、木喰仏に光を当て、妙好人に注目した柳宗悦。その幅広い学究的足跡と人脈、浄土信仰(仏教研究)に言及しながら日本思想に影響を残した柳の姿を浮き彫りにする労作。民藝美学の基盤を浄土思想に求めた姿を中心に展開する。



ちくま学芸文庫ア9-9

◆柳宗悦——美の菩薩

阿満利麿著・文庫判・230頁・1,100円〈筑摩書房〉

なぜ美しいものを作ろうとも思っていない名もなき工人が、時として驚くべき美を生み出すのか。その理由を解き明かそうとした柳は、『無量寿経』にある「すべてが美しい世界をつくる」という阿弥陀仏の誓いに出会い、はたと気づく。阿弥陀仏の本願と美を結びつけ、仏教の再構築を構想した。



特集2

秋の寺院散策のお供の1冊・・・

紅葉が目に見え鮮やかな季節になりました。そんな紅葉が美しい寺院は全国にはたくさんあります。仏教やお寺のことがイラストで簡単によくわかる、オススメの本を片手に寺院散策はいかがですか？

◆キャラ絵で学ぶ！ 仏教図鑑

——もっと深掘り編

山折哲雄監修、いとうみつる絵、小松事務所文・A5変判・143頁・1,870円

日本への仏教の伝来や発展の経緯、主要な宗派の紹介、名刹・仏教芸術の紹介などを「深掘り」して解説します！ いとうみつる先生の可愛いイラストも満載で、読者に仏教への興味をさらに広げていただき、また実際に名刹などに足を運びたいくなる構成。学校で、図書館で、みんな楽しんでみながら、ぜひ仏教への理解を深めてください！ 〈すばる舎〉



◆やさしくわかる仏教の教科書

——知れば知るほどおもしろい！

石田一裕監修・A5判・223頁・1,760円

日本人の約6割は仏教徒だといわれていますが、実際に仏教と触れ合うのは葬儀や法事といった儀礼くらい、という人も多いのではないでしょうか。この本では、仏教の基本から歴史までやさしく解説しています。ページをめくれば必ず、身近でありながら、実はよく知らなかった仏教のおもしろさを感じられるはずです。〈ナツメ社〉

◆マンガでわかる 日本仏教13宗派

——各宗派の教義・歴史・葬儀スタイルなどが一目瞭然

石田一裕監修、カワモトモカ画・A5判・159頁・1,980円

「仏教」とざっくり言ってしまうがちですが、現在、日本の仏教には大きく分けて13の宗派があります。宗派はそれぞれ独自の教義をもち、法衣や法具も微妙に違ってたりします。そんな奥深い13宗派の違いを歴史や教義も含めてマンガで解説。お葬式のマナーなども合わせて紹介するので、日常にも役立つ仏教入門書です。〈誠文堂新光社〉



◆京都 世界遺産手帳

河原書店編集部編・新書判・480頁 2,619円⇒1,650円(特別価格)

世界遺産の文化遺産に登録された京都・滋賀の文化財十七社寺城郭を一ヶ所一冊に分冊し、それぞれの見どころと観光のポイントを的確に解説した、従来のガイドブックで紹介できなかった世界遺産の底力と魅力が堪能できる画期的ガイド本。オールカラーで携帯に便利。境内図、イラストが満載。大変お得な世界遺産読本です。〈河原書店〉

お知らせ

恒例 秋の本まつり

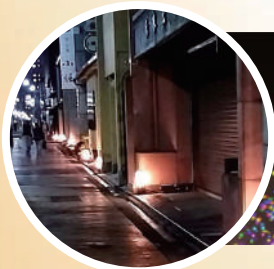
開催決定!

今年も掘出し物をたくさんを用意しております。
楽しいワークショップも予定♥
ご来場心よりお待ちしております!

期間…11月26日(水)～28日(金)
時間…10:00～17:00(最終日は16時まで)
場所…法蔵館書店前

同時開催・特別企画

◆一箱古本市コーナー



『東本願寺前 花灯路』開催予定。

点灯期間日：11月15日(土)～30日(日)
17:30～21:30

法蔵館書店前も花灯路でライトアップされます☆



「悩み」のプロが、
解決のヒントを伝授!

日時：2025年11月29日(土)
14:00～15:30(※ライブ配信あり)

場所：築地本願寺KOKOROアカデミー

新刊

イベント情報



※有料

新刊情報は3ページをご覧ください。

■2025年11月14日発売 税込1,650円 四六判、138頁 出版社：法蔵館



◆◆◆法蔵館書店売行ベスト10(10月期)◆◆◆

順位	書名	著者名	出版社名	定価(税込)
1	儀式作法の心得 [新改訂版]	真宗大谷派大阪教区 出版会議編	真宗大谷派 大阪教区	440円
2	教行信証化身土巻講義 親鸞の出遇った世界—浄土真宗Ⅴ	平野 修述「平野修師講義集」 編集実行委員会編	真宗大谷派 大阪教務所	2,530円
3	「わけもわからずに称名念仏しても意味はない」か?	藤場俊基	サンガ伝道叢書	1,100円
4	東西本願寺120のちがひ	鎌田宗雲	永田文昌堂	3,300円
5	教行信証化身土巻講義 親鸞の出遇った世界—浄土真宗Ⅳ	平野 修述「平野修師講義集」 編集実行委員会編	真宗大谷派 大阪教務所	2,530円
6	真宗聖典(第二版)〈小判〉	聖教編纂室編	東本願寺出版	4,400円
7	語られた親鸞 【法蔵館文庫】	塩谷菊美	法蔵館	1,430円
8	現代語訳 六要鈔 【法蔵館文庫】	柳瀬彰弘	法蔵館	1,650円
9	女の信心—妻が出家した時代 【法蔵館文庫】	勝浦令子	法蔵館	1,540円
10	蓮如教団論	金龍 静	法蔵館	15,400円

【メール配信サービスのご案内】

法蔵館書店では、WEBサイトで本をご購入いただいた方やアンケートにお答えいただいた方に新刊情報などのメール配信サービスを行っております。

◎アドレス変更・配信停止について◎

<https://pub.hozokan.co.jp>のページ下の「メールサービス」から、メールアドレスの登録と解除を行ってください。過去のメールもご覧になれます。

◆ご注文・お問い合わせは、メールの他に、電話・FAX・はがきでも承ります。
店頭在庫がない場合はお取り寄せとなります。ご了承ください。

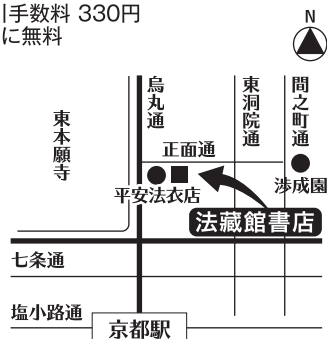
◆荷送料はご購入額合計により
定価16,500円(税込)未満 送料—550円 代引手数料 330円
定価16,500円(税込)以上 送料、代引手数料ともに無料

◆価格表示は全て税込価格です。

電話受付時間変更のお知らせ

2025年9月1日より、お電話の受付時間を変更させていただきます。
ご不便をお掛け致しますが、ご了承賜りますようお願い致します。

9月1日～電話受付時間：平日9時～12時、13時～17時



法蔵館書店

住 所：〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
電 話：075-343-0458 FAX：075-371-0458
発行人：西村七兵衛
E-mail: shop@hozokan.co.jp

<https://pub.hozokan.co.jp>

仏教の風

検索



〔営業日および営業時間〕

月～土：9:30～18:00
祝 日：10:30～18:00
(休業日：毎週日曜日・お盆・年末年始)

法蔵館ブログ「編集室の机から」を更新中!



facebook

つぶやき中～!